

こんな活動です

地域と学校をつないで西が岡の子どもたちに大きな心の財産を！ ～色とりどりの豊かな活動「地域交流室」～

神奈川県横浜市	●活動名	●関係する学校名
	西が岡小学校地域学校協働活動	横浜市立西が岡小学校

協働活動開始年度	平成 23 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
			平成23年4月1日設置		
活動区分	学校支援活動				
			放課後子供教室		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	
		—		3人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有
	35人				
参考URL	https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/				



●連絡先	横浜市立西が岡小学校	☎ 045-814-3603
------	------------	----------------

●活動の概要・経緯
3名の学校・地域コーディネーターが中心となり、学校と、地域の人材・各方面の団体・学校運営協議会等をつなぎ、様々な実りある活動を実現してきた。平成23年11月より、9年にわたり毎月第4土曜日の午前中、子どもたちや保護者と地域の方の憩いの場となるよう、図書室等を「地域交流室」として開放し、ミニコンサートや夏休み親子木工教室・プログラミング教室・卓球教室など、潤いのある豊かなイベントを企画・運営し、多いときには100名を超える児童や保護者が参加している。また、年間を通じ、地域の人材を、生活科や総合的な学習等における「昔遊び」「昔体験」「畑づくり」「ジャム・パンの開発・販売」などに積極的に「地域の先生」として招聘し、子どもたちのより意欲的かつ主体的な学習活動を実現し、それが子どもたちの心の財産となるよう地域連携に力を入れている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 【地域交流室】子どもたちや保護者と地域の方の憩いの場として、図書室を開放してイベントを企画運営（令和元年度の実施内容：ミニ音楽会、夏休み親子工作教室、本のメンテナンス、ロボロボプログラミング教室&トライサイエンス教室、卓球教室など）
- 【学校運営支援】中学校との交流、「総合的な学習の時間」の成果を地域で発表、地域清掃、地域防災拠点訓練との連携、シニアクラブ見守り隊による下校時間に合わせたノットロール
- 【教育活動支援】読み聞かせボランティア「おはなしくレヨン」、昔遊び体験、ガーデニングボランティア、クラブサポーター、家庭科サポーター

【実施に当たっての工夫】

- 3名の学校・地域コーディネーターが、学校を拠点として、地域の力を生かした学校運営支援を目的に、学校と地域のパイプ役として活動している。
- 地域学校協働活動推進員のきめ細やかなコーディネート力により、学校運営協議会において地域学校協働活動についての検討・周知・共通理解が行われ、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体化が図られている。

【関係機関・団体等との連携状況】

「学校・地域コーディネーター便り」を年間通して発行し、学校運営協議会において活動の報告や情報共有をしている。学校と地域の双方の意見を聞きながら毎年よりよいものにできるよう取り組んでいる。また、地域交流室においては、建設業人材育成支援センターやICT関連NPO「ユーオス・グループ関東支部」の支援を頂きながら、毎年継続的に企画・運営してきた。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 協力的な保護者、地域人材により、活発な活動が行われている。
- 毎年充実した学校ホームページが作られ、学校の様子や取り組みを地域や保護者とともに共有している。
- 学校・地域コーディネーターの企画・運営する土曜事業は、100名以上参加する会もあり、毎回盛況である。地域と触れ合うことで、子どもたちが自分たちの町を大切に思う気持ちが育っており、令和元年度学力・学習状況調査の生活意識調査において、「まちな行事に参加していますか」の回答は横浜市の平均を超えている。生活意識全6項目の中で、校内では最も高い得点であった。

● その他

平成23年度より始まった「地域交流室」の様子。開催された教室は、すでに70回を超える。



神奈川県土浦支部の職員が、子どもたちと地域の方の憩いの場となるよう、図書室等を「地域交流室」として開放し、ミニコンサートや夏休み親子木工教室・プログラミング教室・卓球教室など、潤いのある豊かなイベントを企画・運営し、多いときには100名を超える児童や保護者が参加している。また、年間を通じ、地域の人材を、生活科や総合的な学習等における「昔遊び」「昔体験」「畑づくり」「ジャム・パンの開発・販売」などに積極的に「地域の先生」として招聘し、子どもたちのより意欲的かつ主体的な学習活動を実現し、それが子どもたちの心の財産となるよう地域連携に力を入れている。



令和元年10月に開催されたロボプログラミング教室。